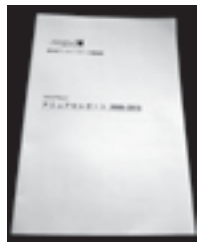


連載

パトロネージュ・システム Q&A 第2回

“パトロネージュ・システム” — これこそ、お客様と新日本フィルをつなぐとっても重要な仕組み。前号では「パトロネージュ室」で新日本フィルのファン＝支援者の方々を増やす活動をしていることがわかりました。



演奏会会場、HPでもご覧いただけます。↑

それでは、実際は ……

Q：どのように支援者を集めているのでしょうか？

A：まず、新日本フィルの“本当の姿”を知っていただくことが出発点ですが、これがなかなか難しい！ 寄付される方に具体的な物をお渡しするわけでもありません。何をどう訴えかければよいのか……つまり、オーケストラって何なのか、新日本フィルは日々どういった活動をしているのか、運営方法、財政状況の説明から、皆様からのご寄付をどのように役立っているのか、オーケストラが社会にどう貢献できるのか等をお伝えすることです。活動内容をまとめた冊子「アニュアルレポート」や演奏会のプログラム、チラシをご覧いただきながら現状を説明し、応援していただけるよう心から願っています。「厳しい経済状況ですが、どのような環境になっても新日本フィルを支えることは変わらないし、そうでなければならぬと思う」という力強いご声援を、昨年もたくさんの方にいただきました。そのたびに「この気持ちにお応えしたい！」と心の底から感じます。新日本フィルへの支援を通じて、“音楽”そのものを好きになっていただけたらと願っています。

Q：お客様とのやりとりで心に残っているエピソードはありますか？

A：いろいろとありますが、今回はその一つをご紹介します。

お年玉で毎年ご寄付くださっている女の子がいらっしゃいます。入会時、彼女はまだ小学生。もともとはお母様が新日本フィルのファンで、サポーターズ・パーティに娘さんを連れて来られたのがきっかけでした。パーティ当日が偶然娘さんのお誕生日だとわかり、出演者のフルート渡辺泰 & テューバ佐藤和彦が「ハッピーバースデー」の演奏をプレゼントしました。そんなサプライズに感激くださった彼女から「応援したい！」との一言をいただいたのです。子どもにとって宝物のようなお年玉を小さな女の子が寄付してくださるなんて、ただただ驚いて初めは躊躇しましたが、その気持ちが本当に嬉しくて。彼女はもう中学生ですが、今でも演奏会やお手紙を通しての交流が続いています。年齢を問わずこうやって音楽を楽しんでもらえるオーケストラの素晴らしさも、あらためて感じられる出来事でした。

★次号では“オーケストラの財政事情”に迫ります。